

## 【熟語の組み立て】

熟語の組み立ての種類は以下の9つがあります。  
訓読みを特に意識することで理解が進みます。

①上の字が主語、下の字が述語になる

**主語**何が・何は **述語**どうする・どんなだ・何だ

**例** 国が**営む**―国営 腹が**痛い**―腹痛

②反対や対の意味の字の組み合わせ

**例** 男と女―男女 左と右―左右

③上の字が下の字を修飾(詳しく説明)する

**例** 老いた人―老人 清い流れ―清流  
親しい友―親友 陸の上―陸上

④上の字が動作(くする)、

下の字が目的や対象(くに、くを)表す

**例** 登る、 乗る、  
山を―登山 車に―乗車

消す、 上る、  
火を―消火 陸に―上陸

⑤意味が似た字の組み合わせ

**例** 身、体―身体 安い、易い―安易

解く、放す―解放 思う、考える―思考

⑥上に打ち消し語(不・未・無・非・否)がつく

**例** 不|満 未|開 無|理 非|常 否|決

⑦下に接尾語(的・然・性・化)がついたもの

接尾語に意味を添える(添加)働きをする

**例** 公|的 自|然 知|性 悪|化

⑧同じ漢字を繰り返したもの

**例** 堂々 常々

⑨長い言葉を省略したもの

**例** 国際連合―国連 農業協同組合―農協

原子爆弾―原爆